



# あいち環境イノベーションプロジェクト

～全国のスタートアップ等から革新的な技術・アイデアを公募～

2024年5月13日（月）

愛知県

# 愛知県における環境の取組とその成果

・日本一のものづくり県であるからこそ、環境分野でもトップランナーであるべきとの考えの下、積極的な環境施策を推進。いくつもの取組指標で全国トップクラス

国際的な環境イベントを契機として積極的な環境施策を推進

2005年愛・地球博



2010年COP10



2014年ESD世界会議



あいちCN戦略会議  
矢作川・豊川CNプロジェクト



市町村と協調した住宅用地球温暖化対策設備導入補助

中小企業等に対する再エネ・省エネ設備導入補助



中小企業等に対するEV・PHV・FCV等の導入補助

EV・PHV・FCVに関する自動車税種別割の課税免除

水素ステーション整備補助・FCFL導入補助

サーキュラーエコノミー推進PT



生態系NW協議会



生物多様性企業認証



## ＜住宅用太陽光発電＞

件数・容量全国第1位(25.9万基・1.2GW※)

## ＜業務用太陽光発電＞

件数全国第1位(4.6万基※)

※2023年12月現在

## ＜PHV・FCV・FCFL＞

保有台数全国第1位

PHV 21,472台※1

FCV 1,787台※1

FCFL 270台※2



©トヨタ自動車㈱

©(株)豊田自動織機

※1 2023年3月現在  
※2 2024年3月現在

## ＜水素ステーション＞

設置箇所数全国第1位

36箇所(2024年3月現在)



## ＜食品ロス削減環境学習プログラム＞

消費者教育教材資料表彰2023消費者庁長官賞受賞

## ＜自然共生サイト※＞

認定数全国第2位(16箇所)

## ＜生物多様性認証企業＞ 55社

## ＜保全陸域＞

県土面積の約20% (愛知目標の個別目標数値17%を上回る)

※民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する区域

知多半島グリーンベルト



# 環境分野の課題

・しかしながら、私たちの生活の基盤となる地球環境の悪化は深刻さを増しており、カーボンニュートラルの実現など様々な環境課題への対応が必要

## <地球温暖化の進行>

大規模水害



感染症の分布拡大



土石流災害



農業被害



## <ごみ問題の多様化>

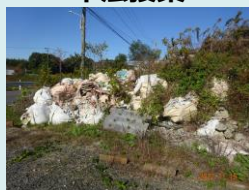
海岸に漂着したプラごみ等



食品ロス



不法投棄



## <生物多様性の危機>

種の絶滅



里地里山の荒廃



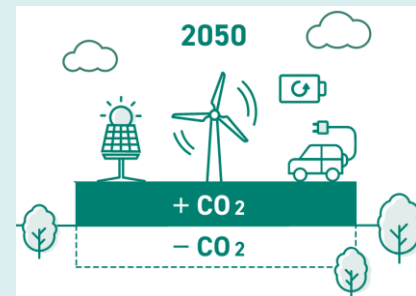
外来種の侵入・拡散



出典：環境省ホームページ

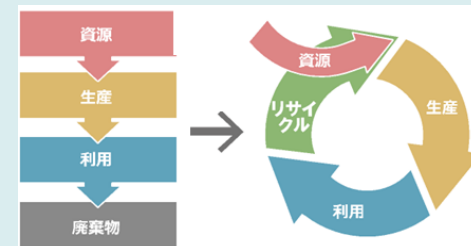
## カーボンニュートラル

産業、業務、家庭、運輸などあらゆる分野における脱炭素化（温室効果ガス排出量から吸収量を差し引いた合計ゼロ）を推進



## サーキュラーエコノミー

従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制等を推進



## ネイチャーポジティブ

生物多様性の損失を止めて反転させ、回復軌道に乗せて自然再興を促進

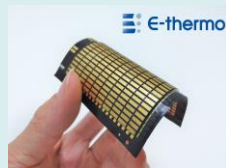
# 革新的な技術・新しいアイデア

- ・環境課題が山積する中、その解決に向けて、スタートアップを始めとする企業は、革新的な技術や新しいアイデアを次々と開発・考案
- ・スタートアップ等と連携し、愛知発の環境イノベーションを創出・実装することが不可欠

## 【技術・アイデアの例】

### <熱電発電>

蒸気でタービンを回す従来の発電方法と違い、排熱と周囲との温度差を利用し、熱エネルギーを直接電気に変換。小さな温度差から電気を取り出すことが可能



### <マイクロ水力発電>

中小の河川や農業用水、上下水道など高低差の小さい水流を利用し発電。様々な場所で利用可能



### <DAC (Direct Air Capture) >

CO<sub>2</sub>濃度が極めて薄い大気中から直接CO<sub>2</sub>を分離・回収



### <AIによる廃棄物自動選別>

AI画像認識技術等を活用し廃棄物を自動選別。様々な種類のごみが混合した廃棄物を正確に早く選別可能



### <森林の状況の可視化>

ドローンとAIを用いて、樹木一本単位で森林の状況（樹種・サイズ・材積等）を計測し可視化

愛知県



大学



地元企業



環境イノベーションの創出・実装

# 愛知県が取り組むべきテーマ（2023年度調査結果）

・環境分野の課題・問題点を踏まえながら、全国の環境関連スタートアップの状況や環境技術のシーズ動向を調査し、県が取り組むべきテーマを整理

テーマ	取組例
① エネルギーの創出・利用モデル	工場等における未利用エネルギー有効活用
	再生可能エネルギー領域のイノベーション
	施設内におけるエネルギー利用の高度化
② 温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル	大気中からの二酸化炭素の回収・利用
	水素と二酸化炭素から都市ガスの主成分であるメタンを合成するメタネーション
③ 県民と共に進める持続可能な社会の実現モデル	二酸化炭素排出量の算出・可視化
	先進的な熱中症対策
④ 域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル	炭素繊維強化プラスチックなどの高付加価値製品の資源循環
	画像解析、AI等の最新技術を活用した資源循環
	カーボンニュートラルにも貢献する資源循環
⑤ 自然が持つ価値の見える化モデル	AI・ドローンを活用した森林の状況の可視化
	ドローン、衛星画像等を活用した動植物のモニタリング
	カーボンニュートラルにも貢献する自然分野の計測

# あいち環境イノベーションプロジェクト公募

## <募集>

### (1) 応募資格

全国のスタートアップ等  
(新規事業を立ち上げる企業、大学を含む。)

### (2) 募集テーマ

- ① エネルギーの創出・利用モデル
- ② 温室効果ガスの吸収・利用等によるカーボンリサイクルモデル
- ③ 県民と共に進める持続可能な社会の実現モデル
- ④ 域内資源の有効利用を通じたサーキュラーエコノミー型ビジネスモデル
- ⑤ 自然が持つ価値の見える化モデル
- ⑥ その他環境課題に対する革新的モデル

### (3) 募集期間

2024年5月13日(月)～7月12日(金)

### (4) 採択予定件数 8件程度

## <審査>

学識者や専門家等からなる審査委員会において審査

### [審査委員会(敬称略)]

- ・名古屋大学 教授 まつだ りょうたろう 松田 亮太郎
- ・公益財団法人名古屋産業科学研究所  
ディーエルオー 中部TLOビジネスコンサルタント ごとう かずまさ 後藤 和昌
- ・株式会社X Futures クロス 代表取締役 まるやま たいちろう 丸山 太一郎  
(中小企業基盤整備機構中小企業アドバイザー)
- ・株式会社環境エネルギー投資 取締役 うだ なおき 宇田 直樹
- ・愛知県環境局 技監 ひらの じゅんいち 平野 淳一

## <伴走支援の内容>

- (1) 県内企業とのマッチング支援
  - (2) プロジェクトの事業化に係る経費支援  
(最大200万円/件)
  - (3) 実証フィールドの提供・紹介
  - (4) 各種支援制度の案内・申請支援
  - (5) 専門家による支援(知財整理、市場ニーズ把握、事業計画のブラッシュアップ等)
  - (6) 取組内容や成果のPR(連携促進交流会・成果報告会)
- ※提案採択後から2027年3月まで(約2年半)